

あらゆる銅合金を中心に 一貫受注、希少性で差別化

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



最高1,200℃に上る鑄込（いこ）みで大型リングを鑄造

業務内容
100gの小物から
500kgの大物まで

あらゆる銅合金を中心に、鑄物を製造・販売している。一品ごとに異なる多品種少量が多く、機械や船舶、水道用の各部品などを手がけている。ユニークな鑄物では蒸気機関車のナンバープレート、だんじり祭りの鐘も製作してきた。100gの小物から、一回の鑄造で500kgの大物まで幅広くこなせる。クリーンな都市ガスを燃料とする金属溶解炉3基を主力設備とし、鑄型用の砂の自動処理ライン、鑄造後のバリを取る機械加工設備などをそろえている。鑄型のもとになる木型の製作から鑄造、機械加工まで一貫して受注する。

強み
銅合金鑄物に一筋、
高い技術・品質で顧客200社

アルミ青銅鑄物は銅合金の中で最も強く硬く、耐食・耐海水性に優れ、船舶部品として多く製造してきた。熔解中に酸化しやすく粘性も強いいため製造が難しいが、材質ごとに溶解炉3基を使い分ける工夫などで、高品質を実現する。アルミやステンレス製の鑄物が増える中でも、銅合金鑄物一筋に技術を磨き、特定の顧客に依存しない営業努力もしてきた。

この結果、銅合金鑄物を手がける希少性が高まり、顧客は全国で約200社に上る。鑄物全体の市場は減少しているが、消耗した部品の交換需要も必ずあり、「不二合金」に注文が集まっている。

職場環境
快適・活気、きれいな鑄物
工場で若手従業員が活躍

遠藤和男社長は「鑄物工場は『3K（危険・きつい・汚い）』といわれるが、当社は『逆

3K（快適・活気・きれい）を目指す」と説明する。汚れる場所には集塵機を設け、整理整頓にも努め、工場内は整然としている。鑄型砂の処理も、練る工程からコンベアによる搬送、供給まで自動ライン化し、作業の負担を減らした。

こうして職場環境を改善してきた結果、平均年齢は32歳と、高齢化が進む鑄造業界の中でも異例の若さを誇る。遠藤社長は自治会役員を約20年間務めるなど地域とのコミュニケーションを深め、住民との共存にも努めている。

今後の展望
耐熱合金鑄物を研究、
展示会にも出展

技術開発にも熱心で、耐高熱性に優れた合金鑄物の製造を目指している。こうした鑄物は、ジェット航空機のエンジンや発電機のブレード（羽根）などに適するためニーズが強く、新たな用途・顧客の開拓に結びつけられる。このため、最新鋭の溶解炉の導入を検討する。

平成26年10月には初めて、大型の展示会「大阪勧業展2016」に出展し、美術作品的なオリジナルの鑄物も展示した。遠藤社長は「これまでは受け身だったが、技術力を積極的にアピールする営業に転じたい」と、今後の成長に挑んでいる。



鑄型砂の自動処理装置で省人化



さまざまな銅合金製品

当社の歴史



当社は平成28年、創業100周年を迎えました。バルブやコックの製造から始め、「世の中に2つとない鑄物を鑄造する」という「不二合金」の社名を精神に、技術の向上に努めてきました。100年培ってきた技術をもとに、形状や材質をはじめ、他社には製造できない鑄物の一貫受託をしていきます。

代表取締役 遠藤 和男さん

<http://www.fujigokin.com/>

主な事業内容

青銅、リン青銅、アルミ青銅、黄銅、高力黄銅、純銅の各鑄物の鑄造および販売

主な取引先（納入先）

空調、船舶部品、水道バルブ、機械部品の各メーカーなど

住所

〒592-8341
堺市西区浜寺
船尾町東1-5

TEL 072-262-9440
FAX 072-264-4014
創業 大正5年8月
設立 昭和28年3月
資本金 1,000万円
従業員 15名